

SDGs「すべての人に安全な水を！」を目指して ～11名の技術者が給水管の接続手法を学びます～

開発途上国における水の供給で一番の課題は、いかに漏水を防ぐかにあります。限られた予算で作った貴重な水が市民の家に届くまでに、老朽化した配管、不完全な接合工事などにより膨大な量が無駄になっています。国によっては無収水率(漏水など収入にならない水)が6割を超えることもあります。

JICA 関西が実施する「都市上水道維持管理(給・配水)」研修では11か国(※)からの技術者11名が6月26日から8月2日の日程で、研修に励んでいます。給水管の老朽化部分をカットし新管との取替、そして漏れることなく接合する修復手法を学びます。「すべての人に安全な水と衛生へのアクセス」というSDGs第6番目の目標達成を目指しています。



昨年の実習風景

噴き出す水に濡れながらも真剣な表情で給水管の接続に取り組む実習風景の取材を是非ご検討下さい。

※アジア(バングラデシュ、カンボジア、ミャンマー、パキスタン)、アフリカ(ベナン、スーダン、モーリシャス)、
 他(イエメン、ブラジル、パプアニューギニア、トルコ)

日時	内容	場所
7/24(水) 9:30～12:00	給水工事实習	大阪市水道局 体験型研修センター 住所: 大阪市東淀川区柴島 3-11-94
7/24(水) 13:30～16:00	給水工事实習	

【本件に関する問い合わせ先】

◆JICA 関西業務第二課 重松(しげまつ)

TEL: 078-261-0388

e-mail: Shigematsu.Sumihiko2@jica.go.jp

◆当日の取材について

大阪市水道局体験型研修センター

中下(なかした) TEL: 06-6322-0576